


提出 順番	No. 2	令和 6年 2月 22日 午前・ <del>午後</del> 3時 50分
----------	----------	--

令和6年2月22日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 岡本 眞利子 

## 一般質問通告書

次のとおり通告します。

質問事項	質問の要旨
自然災害に強いインフラ整備とまちづくり	<p>令和6年元日に発災した能登半島地震から間もなく2カ月近くになりますが、今も1万人以上の方々が避難所での生活を余儀なくされています。避難所には入らないけれども崩れかけた自宅で過ごされている方々もたくさんいらっしゃいます。</p> <p>自然災害は異常な自然現象により生ずる被害であり、被害額は地震が8割を占めており、次に台風、洪水の順になっています。</p> <p>令和6年能登半島地震で震度7を記録した石川県では家屋の倒壊、道路の段差や寸断するなどの深い爪痕を残し、2月21日現在で2万戸を超えて断水が続いています。</p> <p>我が国の社会資本、その他の多くが高度経済成長期以降に整備され、今後建設から50年以上経過する施設の割合は増加していくことが確実です。</p> <p>国は2013年に「インフラ長寿命化基本計画」を策定し、それに基づいて「インフラ長寿命化計画(行動計画)」や「個別施設計画」の策定が進められています。</p> <p>そこで今回の能登半島地震の発災後、幕別町が管理する各インフラ、学校施設等の的確な維持管理・更新がなされているか危惧されるところであります。</p> <p>いつ来るかもしれない自然災害を鑑み、住民の命と生活を守るためにインフラ整備は重要と考えることから以下の点について伺います。</p>

	<p>1 インフラの老朽化と維持管理・更新について</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 建築後50年以上経過する各インフラ割合は。 道路、橋梁、河川管理施設、下水道管渠（2020年、2040年時点）</li><li>(2) 現時点で早期に措置が必要な施設数と着手済みの割合は。</li><li>(3) 道路、橋梁において維持管理・更新の費用で事後保全と予防保全の試算の検証（10年後）は。</li><li>(4) 水道管において法定耐用年数（40年）を超える水道管の割合（管路経年化率）、更新された水道管の割合（管路更新化率）は。</li><li>(5) 水道管の耐震化率と耐震適合率は。</li></ul> <p>2 町内小中学校施設の老朽化対策と防災機能強化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 築40年以上経過している校舎数は。</li><li>(2) 建築基準法に基づく調査・点検の状況は。</li><li>(3) 体育館空調、バックアップ電源の整備等、避難所機能強化についての今後の方向性は。</li><li>(4) 老朽化対策に外壁落下防止対策を含めた計画がされているのか。</li></ul>
--	--

（注）質問の要旨は、具体的に記載すること。